



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）って何をするの？

今年度、社会教育指導班では管内の小・中学校・義務教育学校（全市町村各1～3校）を訪問し、各学校のコミュニティ・スクールの実践を伺うとともに、学校運営協議会の効果的な運用に向けて情報提供をしております。ここでは、学校でお伝えしてきた「熟議」の重要性と、管内の事例について紹介します。

学校運営協議会は

子どもを中心とした学校や地域の目的や課題を共有し、地域総がかりで取り組むための**作戦会議**です！



学校からの話題

キャリア教育の幅を広げるために、**職場見学やインターンシップを受け入れてくれる会社を増やしたい**と思っていますが、教員につながりがなく困っています。



○○さんのところは喜んで手伝ってくれると思います。私から声をかけられますよ♪

職場体験は子どもたちに地元の人や会社を知ってもらう良い機会になると思います。今、町は人口減で寂しくなっています。**子どもたちが進学で町外に出ていったとしても、地元で貢献したいと思えるように育ててくれるといいですね。**商工会議所に声をかけてみます。



例えば…



地域からの話題

地域防災の必要性を感じています。避難所が学校となっていますが、どのような動きになるのでしょうか。

でしたら、〇月に学校で避難訓練を予定しておりますので、**見学に来ませんか？**

ぜひ見学したいです。せっかくでしたら、**町内会と合同避難訓練はいかがでしょうか？**

いい提案ですが、学校では新たに時間や人手をさくことが難しい状況です。

それなら**役割分担して一緒にやりましょう！**



熟議 の活用

注意

- ・地域の方が学校の評価だけをする場ではありません（≠学校評議員制度）
- ・地域の方に学校のお手伝いを**一方的**にお願いする場ではありません

コミュニティ・スクールのメリット

- 持続性**…個々のつながりだけでなく、**組織的・持続的な関係**
- 社会総がかり**…**目標や課題を共有**し、**関係者全員が当事者**に
- 協働**…**熟議**により、誰かがやるのではなく**地域全体で実現**に取り組む

出典／学校と地域の課題解決につながるコミュニティ・スクールの推進（全国コミュニティ・スクール連絡協議会×文部科学省）

※「熟議」の展開は例にあげた他にも、地域コーディネーターの有無、地域学校協働活動との連携度合いによってさまざまあります。

斜里町立知床ウトロ学校の取組

知床ウトロ学校の拡大学校運営協議会「もやいの会」を紹介します。今年度は、「**ウトロッ子に気づいてほしい！かけがえのない自分、ふるさと知床**」をテーマに、地元住民と教員約50名が参加し協議しました。

多職種で協議するからこそ多様な意見やアイデアが出され、協議以外の場面でも、教員が知らなかった授業に生かせる人材や地域資源の情報など、地元の情報が得られたようです。

目的

- ・**教職員と地域住民とが知り合い**になる。
- ・子どもたちのために**それぞれの立場で何ができるかアイデアや思いを語り合う。**
- ・「もやいの会」で出された意見を**学校運営協議会で実現について協議**する。
- ・**次年度の学校経営方針の参考**にする。

ほめるだけではなく競争原理により得られる達成感も大事ですよ

変化しない人間関係は大人になると家族のような温かいつながりになる

内容

- 1 全国学力・学習状況調査「自分には良いところがあると思いますか」の項目が低いことを共有
- 2 子どもたちが「自分に良いところがない」と思ってしまう原因を協議
- 3 自己肯定感（達成感や自己有用感等）を育むために、何ができるかを協議
- 4 大人になってもふるさと知床にまた戻りたいと思ってもらうために何ができるかを協議

良いところがなくてもHAPPYならそれでいい！

町内会の事業企画をすとおもしろいかも